

ロイヤルカナン 犬と猫のカロリー要求量および給与量変更のお知らせ

このたびロイヤルカナンは、成犬と成猫の1日あたりに必要な代謝エネルギー量（カロリー要求量）の目安を見直し、従来と比較して減少させることにいたしました。

- **犬のカロリー要求量**: 現在より約10～15%減少します。
*ただし、犬種やライフスタイルにより違いがあります
- **猫のカロリー要求量**: 体重が4kgくらいまでは変わりません。
*それ以上の体重の猫の場合、約5～15%減少します

この変更に伴いまして、製品パッケージや製品資料に掲載しております「1日給与量の目安」の表（給与表）も変更となります。この変更は今後順次行ってまいります。

これは、昨今の犬・猫の飼育環境の変化（室内飼育の増加、運動量の低下、避妊・去勢率の向上など）および大型猫のカロリー要求量を鑑みて、犬および猫のカロリー要求量を見直したことによります。

現在ロイヤルカナンが採用している犬のカロリー要求量の計算式は、1985年に発表されたNRCの基準をもとに、ロイヤルカナンの研究結果を加味したものとなっております。

しかしながら、このカロリー要求量はもともと、リードをつけない運動を1日1時間以上行うような、活動量の多い犬を基準として計算されたものでした。そのため、昨今のように室内飼育犬が増加している状況では、これが基準として適切であるかどうか、これまで議論されてきました。実際に肥満とされる犬と猫は増加しており、3頭に1頭が肥満であると報告している研究もあります。

そこでロイヤルカナンでは国際会議の場を通じ、専門家や有識者と共に検討を重ねてまいりました。その結果、現在の典型的な飼育環境下にある犬では、これまで想定されていたよりも運動量が少なく、従って「従来のカロリー要求量の基準ではカロリー過多になりがちである」と結論し、今回の決定に至りました。同時に、猫については大型の猫種の飼育が増加したことにより、個体・品種による体重差が大きくなっていることを考慮し、同様に検討した結果上記の変更となりました。

このたびの給与表の変更は、典型的とする飼育環境の家庭犬を、運動量が比較的多い犬から、運動量が比較的少ない犬へと変更したことに伴い、給与量の目安を変更したものです。したがって現在の給与量で理想的な体重が維持できている場合は、給与量を変更する必要はございません。また、製品コンセプト等に変更はなく、従来同様にご使用いただけますのでご安心ください。

私どもロイヤルカナンの哲学は“Dog and Cat First”でございます。すべては犬と猫のために最新の科学的知見を製品に反映することをモットーとしております。今回のカロリー要求量の変更およびそれに伴う給与表の変更も、その哲学に基づいて行うものでございます。

今後とも弊社ならびに弊社製品をご愛顧賜りますようお願い申し上げます。

ロイヤルカナンジャパン合同会社